

令和元年 第2回 臨時

摂津市教育委員会会議録

開催日時 令和元年8月7日(水) 午後1時00分開会
午後3時00分閉会

開催場所 摂津市役所 新館7階 講堂

付議事件

議案番号	件名	審議結果
33	摂津市立小中学校における令和2年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書、摂津市立小中学校における令和2年度使用教科用図書採択の件	承認

出席者

<p>教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員 委 員</p>	<p>箸尾谷知也 福元 実 大矢優子 山手知榮子 西川俊孝</p>	<p>教育次長兼教育総務部長 教育総務部参事 教育政策課長 教育支援課長 兼教育センター所長 教育支援課長代理 教育政策課主幹兼総務係長 教育支援課主幹兼指導主事 教育政策課係員</p>	<p>北野人士 野本憲宏 松田紀子 大崎貴子 藤山 京 岡田哲也 小原理乃 窪 秀昭</p>	<p>次世代育成部長</p>	<p>小林寿弘</p>
---	---	---	---	----------------	-------------

教育長

ただいまから、令和元年第2回教育委員会臨時会を開催いたします。本日の署名委員は山手委員です。よろしくお願いいたします。

本日は付議事件が1件です。

それでは、議案第33号、「摂津市立小中学校における令和2年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書、摂津市立小中学校における令和2年度使用教科用図書採択の件」について、教育支援課長より説明をお願いします。

教育支援課長

【以下、議案書等により説明】

教育長

それでは審議に入るにあたり、私から本議案に関する本日までの教育委員会としての活動の経過を説明させていただきます。

教育委員会は、平成31年3月29日付け文部科学省初等中等教育局長通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」、ならびに同日付け文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「2020年度（新元号2年度）使用教科書の採択事務処理について」、及び平成31年4月16日付け大阪府教育委員会教育長通知「義務教育諸学校における平成32年度使用教科用図書の採択について」に基づき、採択の公正確保と静ひつな採択環境の確保に十分留意し、専門的な調査研究活動を行うため、「摂津市立小中学校における平成32年度使用学校教育法附則第9条関係図書の選定に関する事項並びに摂津市立小中学校における平成32年度使用教科用図書の選定に関する事項」について平成31年4月23日付けで、選定委員会に諮問を行いました。

選定委員会では、諮問を受け、小学校の全種目及び中学校「特別の教科 道徳」以外の全種目の教科用図書について調査を行い、それに基づいて教科用図書選定に関する協議を重ねられ、去る令和元年7月22日、教育委員会に対して答申をご提出いただきました。

答申には、以下の3点について記載されておりました。第1に、附則第9条関係図書について、学校から拡大教科書の必要性のある児童について報告があったことを踏まえ、対象児童生徒が必要とする種目の「拡大教科書」（令和2年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大したもの）を使用することが望ましいこと、第2に、中学校「特別の教科 道徳」以外の種目については、平成27年度に府教育委員会が提示した中学校教科用図書選定

資料や本市における平成27年度の調査研究の内容等を活用し、検討した結果、4年間の使用実績等も踏まえ、平成27年度の教育委員会において採択された発行者を推薦すること、第3に、小学校については、見本本が届けられた全発行者の教科用図書の特徴、選定委員会としてさらに各者を比較した点とその特徴、また、種目ごとに発行者数に応じて1者又は複数者の採択候補が記載されておりました。

答申を受け、教育委員会では、令和元年7月22日と25日、8月1日の3日間、教科用図書採択に関する学習会を開催し、本市の小中学校で使用する令和2年度使用学校教育法附則第9条関係図書及び令和2年度使用教科用図書の採択について、意見交換等を行ってまいりました。資料としては、中学校「特別の教科 道徳」以外の教科については、平成27年度に府教育委員会が提示した中学校教科用図書選定資料及び本市における調査研究の内容を、小学校全種目については、見本本が届けられた全発行者の教科用図書、資料提供された調査員による調査研究報告書、学校及び教育研究会からの意見書、さらには教科書見本本展示会において寄せられた意見等について活用いたしました。

以上がこれまでの活動の経過です。

各委員から何か補足はございますか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは、異議なしとのことですので、議案審議に入ります。

まず、令和2年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、学校から学校教育法附則第9条関係教科用図書に関する採択の必要性についての申し出があり、選定委員会の答申では、対象児童が必要とする種目の令和2年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を使用することが望ましいとありました。この答申に基づき、対象児童が必要とする種目の令和2年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することによろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは、令和2年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、対象児童が必要とする令和2年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大したものを採択することといたします。

次に、摂津市立小中学校における令和2年度使用教科用図書採択に移ります。教科用図書は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令により、原則として採択替えは4年に1度、採択という手続きは毎年必要とされています。中学校「特別の教科 道徳」については、平成30年度に採択されたため、今年度採択替えの年となっておりますので、今年度と同様のものを採択することといたします。

次に、中学校「特別の教科 道徳」以外の令和2年度使用中学校教科用図書についてご審議お願いいたします。

中学校教科用図書は、平成27年度に採択替えが行われ、本来であれば本年度採択替えの年ですが、教科書会社から新たな検定本の申請がなかったため、前回の平成27年度の見本本の中から採択を行うこととなります。選定委員会からの答申では、先ほども申し上げたとおり、平成27年度に採択された発行者を令和2年度も採択することが良いのではないかとのことでした。

改めて、ご意見はございますか。

大矢委員

事務局に聞くことになりましたが、現在使われている教科書について、課題や問題等現場からあがっていますか。

教育支援課長

現在使用している中学校の教科用図書に関しましては、現場や選定委員会から、特に課題や問題があるという報告は受けておりません。

教育長職務代理者

研究発表会の授業や学校訪問で、先生方が授業をされている様子を拝見しています。当然、教科書を使って授業をされており、その中では、支障があるのではと懸念を抱くことは特になかったもので、問題はないと思います。

山手委員 今年、新たな検定本が発行されていないということですので、変更する理由はないと思います。

教育長 他にご意見はございますか。
では、中学校「特別の教科 道徳」以外の令和2年度使用中学校教科用図書については、現在使用している教科用図書を採択することによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 では、現在使用している教科用図書を採択することにいたします。
続きまして、令和2年度使用小学校教科用図書についての種目ごとに審議に入ります。
選定委員会の答申、過去3回の学習会における各委員のご意見については、私からご報告させていただきます。報告の後、改めてご審議いただき、採択について最終的に決定したいと存じます。

国語に関しては、東京書籍・学校図書・教育出版・光村図書の4者から見本本が届きました。
全発行者とも、言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するような、話し合いの流れを示すなどの工夫がなされていました。
各者の特徴としては、学校図書は、「書く」根拠と理由を区別しようという単元があり、他者には見られないものでした。
教育出版は、巻頭に「学びの地図」が示されており、児童が1年間の学習の見通しをもつことができるとともに、「話す・聞く」「書く」「読む」の学習のつながりがわかりやすいよう工夫がなされていました。
選定委員会から候補として挙げられた東京書籍と光村図書については、2者とも5、6年が1冊になっており、巻末の資料を年間通して活用することができる工夫がありました。
東京書籍は、単元の導入の扉が充実しており、また、パターン化されることで、児童が主体的に取り組むことができる構成となっていました。6年のインターネットの投稿の読み比べは、他者にはな

い特徴でした。横書きでインターネットの投稿の内容が記載されており、現代的な課題について考えることができる内容となっていました。

光村図書については、単元扉や単元の後ろの「学習の進め方」など、何を学ぶかがわかりやすく、児童が主体的に見通しをもって取り組むことができる工夫がなされていました。また、巻末に資料が充実しており、「言葉の宝箱」では、気持ちを表す言葉などが集められており、感想や評価を考える際に活用することができるような工夫がなされていました。

以上が国語についての報告となります。

では、国語についての採択を行います。ご意見をお願いいたします。

西川委員

国語ですが、東京書籍については、例えば物語文や説明文など単元の始めの扉のページで、中身についてはかなり詳しく触れられていると思います。一方、光村図書はどちらかというとシンプルな投げかけで、そこに違いがあると思います。

これをどう見るかということですが、個人的にはストレートに教材に入り込める方が良いと思っています。扉に紹介されている資料にも「2年（下）何ページ」というように、前の学年、あるいは前の教科書、下の教科書、上の教科書でどんなことを学んだかがわかるよう、ページ数も書かれていて、その点は配慮があると思いました。

巻末の「言葉の宝箱」もなかなか良いのではないと思いました。その点、私としては光村図書が良いと思っています。

山手委員

私も東京書籍と光村図書の両方とも良いと思い、迷いました。

低学年では特に文章の途中で、改行されると言葉がばらばらになり、読みづらいと思います。東京書籍はその点に配慮されていて、そういうことはなかったです。

その他の教科書も配慮はある程度されていますが、東京書籍ほどではなかったですし、6年でフェアトレードのこと、広島のことなど、社会的な内容も多く、良かったと思っています。

また光村図書は、単元ごとにQRコードを読み取ると、物語の朗読があったり、いろいろ工夫されていました。

そしてそのQRコードを、使って家庭学習もできるということもあって、両方良いところがありましたが、全体として、光村図書の方が良かったと思います。

大矢委員

どの教科書も本当にすばらしくて、主体的に学び、そして対話的にも学び、深く学ぶことについて、よく考えられた教科書だと思います。

先ほど教育長が学習会のご報告をされた時に言われたのですが、東京書籍と光村図書で、単元に入る前に1ページを取って、わかりやすくレイアウトしているというところは好ましいです。

東京書籍に関して言えば、レイアウトについて、例えば、最後にブルーで、まとめをしているところが好ましいと思いました。

光村図書の好ましいところは巻末の資料で、「学習を広げよう」というところがブルーでページを分けてありまして、それがとても丁寧に書いてあり、振り返って書く時などに必ず使えるのではないかと思いますので、光村図書が良いと思いました。

教育長職務代理者

私はどの者も、教材に工夫があり、すばらしい教科書であると見させていただきました。

最終的に、東京書籍と光村図書だと思いますが、私は紙質と言いますか、国語の教科書ですので、読む時に、ページを繰っていくと、光村図書の教科書の印刷が、目に非常にやさしいという点で、光村図書が良いと思いました。

教育長

4名の委員全員、光村図書ということでした。私もいろいろな視点ですべての教科書を見させていただきましたが、光村図書の教科書が適していると思いますので、国語は光村図書を採択したいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

国語は光村図書を採択します。次に書写に移ります。

書写については、東京書籍・学校図書・教育出版・光村図書・日本文教出版の5者から見本本が届きました。

どの者も書くことに対する興味づけの工夫がなされていました。

各者の特徴としては、東京書籍は、巻頭に1年間で学習する内容が系統図で示されており、わかりやすい工夫がありました。しかし、A B判で少し大きく、机の上に置きにくいのではないかなどという意見もありました。

学校図書は、書き込み欄が多く、練習が多くできる工夫がありました。

日本文教出版は、单元ごとに「できたかな」があり、それを活用してふり返りができるような工夫がありました。

選定委員会から候補として挙げられた教育出版は、3年の毛筆の導入がより詳しく、丁寧にわかりやすく説明されていました。書写を生活に生かす工夫も多くみられました。

同じく、候補として挙げられた光村図書は、猫や人物のキャラクターが多用されており、キャラクターの表情などで毛筆の「とめ」や「はらい」がわかる工夫がなされていました。

以上、書写についての報告です。

書写についての採択を行います。ご意見お願いいたします。

大矢委員

最初に、子どもが字を書く時の姿勢について、どのように座っているというのが書いてあります。その中で教育出版だけが姿勢について、腰に注目して、「腰をピン」と書いてありました。

摂津市の各学校での取り組みを、学校訪問で見せていただいた時に、立腰というものに取り組んでいる学校が多いです。

確かに背中を真っ直ぐと言われるのですが、うちの息子はちょっと障害があって理解しにくく、背中を真っ直ぐにと言ったら、背中に力が入ってしまいます。

でも、本当は腰やお腹に力を入れるということは、それはとてもわかりやすいということで、そういう意味では教育出版がとても好ましいと思います。

教育長職務代理者

私は教育出版が良いと思いました。理由は運筆です。筆の運び方などについて、一番詳しく、子どもにわかりやすく書かれているという印象を持ちました。

それと、3年生で毛筆が導入されると思いますが、その辺りの筆を持った時や書いた時の筆圧について、筆圧がこういうふうになりますということも一番丁寧に書かれていたと思いました。従いまし

て、私も教育出版が良いと思いました。

山手委員

教育長職務代理者からも筆の運びや、筆圧ということが出ていましたが、「とめ」や「はらい」などがきっちりと図示されていて、子どもたちにわかりやすい書き方がされているのも教育出版だったと思いました。

学校訪問をした時に、子どもたちの後ろに習字の作品が貼っていたことがありましたが、やっぱり「とめ」や「はらい」は、肝心なところが会得されていない子どもも多いように感じます。

教える先生も授業数もそんなに多くないので、わかりやすい教科書が一番使いやすいと思い、教育出版が良いと思いました。

西川委員

皆さん、教育出版ということですが、特に大矢委員が言われた、摂津市で言うところの立腰を扱っています。あともう1つ、どの者も連絡帳についてのことがあります、1年生で連絡帳の書き方などを取り上げているということで、この点からも教育出版が良いと考えています。

教育長

書写についてですけれども、今、お聞きをしましたらどの委員も教育出版が良いということで、私も教育出版を採択することには賛成ですので、それでは教育出版ということよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

はい。では書写は教育出版といたします。

では、社会に移ります。

社会については、東京書籍・教育出版・日本文教出版の3者から見本本が届きました。3者ともに学びのプロセスが示されており、問題解決的な学習が展開できるような工夫が行われていました。また、領土問題についてどの者も十分な記載がなされていました。

各者の特徴としては、東京書籍は、5年気候のグラフが地図の位置と関連付けて記載されており、見やすく、わかりやすい工夫がなされていました。

日本文教出版は、1時限ごとの授業の始めに、素朴な疑問「わたしの問題」が示されており、児童が興味・関心を持ち学ぶことがで

きる工夫がありました。

選定委員会から候補として挙げられた教育出版は、1 時限ごとの「問い」と「次につなげよう」が示され、児童の学びに向かう意欲を高める工夫がなされていました。リサイクル、地産地消などについて、多く取り上げられていました。領土問題について、特に丁寧に記載されていました。

以上、社会についての報告です。

では、社会についての採択を行います。ご意見をお願いいたします。

山手委員

社会の授業で、それぞれの学年で、経済的な視点について、子どもたちも学べる方が良いと思っています。

そういう視点で書いているものは少ないのですが、教育出版では、3 年生で、例えば、スーパーではお金がどんなふうに動いているのか、仕入れにどれだけお金がかかっているのかということに触れられています。

あるいは、4 年生では、ごみを処理するのに、どれだけ費用がかかるのか、5 年生では水道の費用について、経済という観点から取り上げられていましたので、教育出版が良いと思いました。

大矢委員

社会科の教科書ですが、どの教科書もすばらしく主体的に考え、対話的で深い学びということが打ち出された教科書でした。対話的ということで、子どものキャラクターがいろいろしゃべっているイラストで、こういう気づきがあるというものがありました。

その中で教育出版はただの気づきだけではなく、例えば、アの資料とイの資料からこういうことがわかるからというように、その根拠が書いてあるのが良いと思いました。

全国学力・学習状況調査でも、そういう根拠を考えるとということがありますので、それは求められていることだと思います。

そして、領土問題についても、先ほど教育長の話にありましたようにしっかりどの者も書かれています。その教室にはさまざまなルーツを持つ子どもたちがいます。その中で、教育出版は平和的な解決ということに踏み込んで、丁寧に書かれていますので、そこが良いと思いました。

そこで私はどこの教科書も良いのですけども教育出版がその点

で好ましいと思ったので、教育出版を良いと思います。

教育長職務代理人

低学年に対して、地域の中で自分の身の安全をどう守るかという、深刻な問題があると思いますが、そういう問題の扱いについて言えば、教育出版が一番丁寧であったと思っています。

ただ、エルトゥール号についての記述で言えば、日本文教出版が一番詳しく書かれていますし、これは子どもたちの身近な問題としても良いと思いました。

全般的に見て、教育出版が良いと思います。教育出版の歴史年表は、非常に詳しくて良いのですが、本の途中に入っています。その年表を開こうと思うと、授業の中で1回1回止まって、その本の途中を開かないといけないのは、もったいないと思いました。

他者でも歴史年表が付いている教科書はありまして、最後のページの見開きに付いていることもあります。

教育出版の歴史年表の使い方を真ん中からどこかへずらしてもらいたいというのが希望ですが、全般的に見て、私は教育出版が良いと思いました。

西川委員

皆さんが教育出版で同じような感想を持っていると思います。教育出版が良いということですが、私はSDGsについて、見比べました。東京書籍、日本文教出版で表になっていまして、色付きが良くてしっかりと17の目標がアイコンになっていました。

これは世界共通で、今、広がりつつあることで、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標になっています。この時代を正に生きていこうとする子どもたちにとって、こういった共通のアイコンは、視覚に訴えるものとしてすごく大事だと思います。

教育出版にそのアイコンがないということ、それから載っているところでも後ろの方に後付けのように載っているということで、この扱いはどうなのだろうかと感じます。

これがちょっと引っかかる場所ですが、それで、委員の皆さんが言われた良いところが全部なくなるということではないので、とても迷います。

もし今後、改訂されるということがありましたら、これはぜひ考えていただく方向でお願いしたいのですが、結論としては、教育出版で良いと思っています。

教育長 それでは社会科について、今、お聞きいただきましたように、一部の委員の方々からは、できればこういうところを改訂していただきたいという意見も出ましたが、4名とも教育出版が良いということです。それでは社会科につきましても、教育出版を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 それでは社会は教育出版といたします。
では、次、地図に移ります。
地図については、東京書籍・帝国書院の2者から見本本が届きました。どちらも社会の学習内容と関連付けながら活用できるよう工夫されていました。
各者の特徴については、東京書籍は、資料が豊富で、情報が多く、資料の部分のフォントも大きく、見やすい工夫がなされていました。
選定委員会から候補として挙げられた帝国書院は、色があざやかで文字量も多くなく、文字も大きすぎないためすっきりしており、地図として見やすい工夫がなされていました。防災についても詳しく記載されていました。
以上、地図についての報告です。
では、地図についての採択を行います。ご意見をお願いいたします。

大矢委員 地図は、子どもたちが本当に楽しんで見る教科書の1つだと思います。その地図の中で私たちの市、摂津市がどう取り扱われているか気になります。
東京書籍は、「摂津」と書いていますが、帝国書院には「摂津市」と書いていますので、私としては「摂津市」と書いている方が子どもたちも喜んで学ぶのではないかと思います。
また、瀬戸内海、近畿地方、北海道など、各地方の地図も詳しく取り上げられていますので、それも子どもたちが楽しんで学ぶのではないかと思います。
その地図の凡例ですが、領空や領海について、わかりにくいとこ

るもありますが、帝国書院は立体的で飛行機も飛んでいて、わかりやすいので、私は帝国書院が良いと思いました。

山手委員

私も選びたいのは帝国書院です。先ほど、大矢委員がおっしゃったように、摂津の子どもたちが学ぶ時に、「摂津市」が載っている、あるいは京阪神が詳しい、瀬戸内海があるということで、摂津の子どもたちが身近に感じて楽しめます。あと、防災について、自然災害は東京書籍は3ページ、帝国書院は4ページを使っており、さらに帝国書院は備えについても記載があり、丁寧に記載されています。防災は、とても大事な一つのテーマになっていますので、帝国書院の方が良いと思います。

また、先ほど、ご報告の中にもありましたが、帝国書院の方が色が薄くて見やすいと感じました。

教育長職務代理者

ここに地図が帝国書院と東京書籍のものがあります。この2冊の重さはほとんど同じぐらいです。ただ、ページ数は帝国書院が18ページほど多いです。それで厚みもほとんど変わりません。

それではあと何が違うのかなということを見ると、紙質の工夫がされているようで、同じ厚さ、同じぐらいの重さでも、ページ数の差が出ています。

それで、今、山手委員もおっしゃいましたが、京阪神のことが詳しく載っているということがありますので、私は帝国書院の方が良いと思っています。

西川委員

私も同様に詳しくて見やすいということで帝国書院が良いと思います。

今回3年生から資料を使うということですので、既に遠足で行ったりとか、あるいは、家でどこかに出かけたりする時に、近畿地方のどこに行ったのか振り返ったりするような時に、日常的に見やすく、使いやすいということで、この魅力は大きいと思いました。

ただ、資料として見た時に、統計の表のフォントが帝国書院はすごく小さくて、どうかと思いました。

この点が引っかかるところなのですが、総合的に見て、帝国書院が良いと思います。

教育長

4名の委員全員が地図に関しては帝国書院が良いということで、地図は帝国書院を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

では、地図は帝国書院といたします。

次に算数に移ります。

算数については、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館・日本文教出版の6者から見本本が届きました。

それぞれ、どの者とも数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現されるような工夫がなされていました。

大日本図書では、「なるほど算数教室」が工夫されており、児童が興味・関心を持ち取り組むことができる工夫がなされていました。しかし、全学年1冊になっているので、毎日持ってくることを考えればどうかという意見がありました。

学校図書では、4マス関係表が高学年で示されているが、理解するのが難しいのではないかという意見がありました。6年の別冊の「6年の架け橋」は、6年3学期に活用できて良いという意見がありました。

啓林館は、生活の中に広げようなど、楽しさを広げることができる工夫がありました。

日本文教出版は、レイアウトがすっきりしており、わかりやすい工夫がなされていました。

選定委員会から候補として挙げられた東京書籍は、1年生の始めがA4で書き込みやブロックを置いての作業ができるので、ノート等を兼ねて使用でき、スムーズに授業を進めることができる工夫となっています。また、単元の導入が右ページから始まり、児童が主体的に考えることができる工夫があります。

同じく、候補として挙げられた教育出版は、単元前に学びに向かうきっかけとなる単元導入が示されており、児童が学習の必要性を感じ、取り組むことができる工夫がなされていました。また、4コマ漫画によるまとめなど、児童の興味・関心を高める工夫がありました。

以上、算数についての報告です。

では、算数について採択したいと思います。ご意見をお願いします。

大矢委員

算数もどの教科もそうですが、主体的に考えることの大切さがありますので、その中で楽しんで考えて欲しいと思います。

例えば、このパズルみたいな図を見た時に、これをどうやって解くのかと思っても、教科書を開けた時に、それが説明されてしまっていると考える楽しみを子どもから奪ってしまうのではないかと思います。教科書を開けた時に、問いがあって、その次のページでどんなふうに式を立てようかと考えられるように、式のところに書いてないものもあります。答えがすぐにわかるのではなくて、次のページをめくって、それで丁寧に説明してあるものが好ましいと思いました。それは数者ありましたが、その中でも、東京書籍は、先ほどの報告にもありましたように、1年生のところで、1冊で導入部分にブロックを置いて進められます。それはとても大きいポイントだと思います。それを上下で分けるのではなく、1年の導入の大切なおところでしますので、子どもたちが躓きにくいと思います。

ただ、東京書籍が心配なところは情報量が多いことで、先ほど言いましたように、考える楽しみはありますが、いろんなポイントの解説も多く、それで教科書を開けた時に字が多いので、字が多いのが苦手な子どもたちもいるか思います。しかし、現在使っている教科書も東京書籍だと聞いていますので、そこで特に今、問題はないと聞いていますので、東京書籍が良いと思いました。

山手委員

私も東京書籍を推したいと思います。先ほど大矢委員から1年生の話が出ました。

私もこの東京書籍の1年生の最初のA4の教科書は子どもが理解しやすく、使いやすいように工夫されていると思いました。これは他者にはない工夫なので、これだけでも東京書籍が良いと思いました。

西川委員

皆さんと重なるところですが、やはり1年生の導入の算数というところで「入り」が、すごくスムーズにいけるのではないかとということ、それから、単元の始めのページが右側からあって、子どもたちが主体的に考えることができるのではないかとということ、こ

の2点が大きなポイントで東京書籍が良いと思っています。

教育長職務代理人

私も東京書籍が良いと思っています。学校でどんな指導方法で教育されているのかをしっかりと見させていただいたのですが、私は小学校の2年生の（下）のかけ算、それから3年生の（上）のわり算、この辺りは子どもが一番ひっかかるころだと思います。東京書籍は工夫がされて、良いと思いました。

それからノートの書き方のところが、毎年、学年に複数回出てきますので、それでその都度、戻っていろいろ確認をしながら進めることができるというところがありますので、東京書籍が良いと思いました。

教育長

わかりました。今のご意見では算数は東京書籍が良いということでした。

私はもともと中学校の理科の教員をしておりましたが、やはり分数の計算力がどれだけ付いているのかが、中学校で理科を学ぶ際にも、大変重要になってきます。

ですから、かけ算、わり算、四則演算はもちろんですが、分数についても小学校ではしっかり身につけて欲しいと思っていますので、そういう視点で今回の各者の教科書を見させていただきました。その中には、分数のかけ算の導入で「ペンキを塀に塗る」という例で書かれている図がありまして、非常にわかりやすいなと思いました。

その観点で各者を見ていきますと、東京書籍、学校図書、啓林館、日本文教出版は同じように「ペンキを壁に塗る」ことを例として挙げておられたのですが、教育出版と大日本図書は違って、教育出版は牛乳とケーキで、分数のかけ算をするにはイメージがしにくいと思いました。また、分数のわり算についても同様に、他の者は「壁をペンキで塗る」というもので例題にされていますが、教育出版は「粘土を分ける」ということで、イメージがしにくいと感じました。

どの者も工夫されて非常に良いとは思いますが、その点を見ても東京書籍が良いと思いますので、私も算数は東京書籍にしたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

では、算数は東京書籍を採択いたします。

では、理科に移ります。

理科については、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館の5者の見本本が届きました。5者すべてに主体的に問題解決に取り組むことができる流れがあり、児童の学びにつながる工夫がありました。

各者を見てみると、東京書籍は、資料が充実している一方、目次が裏表紙にあり、わかりにくいという意見もありました。

大日本図書は、実験の注意が赤で囲まれており、目を引き、さらに、丁寧に注意点が記載されていました。

学校図書は、写真が多く、児童がイメージしやすい工夫がありましたが、目次が裏表紙にあり、わかりにくいという意見がありました。

選定委員会から候補として挙げられた教育出版は、体のつくりの折り込みが実寸大でインパクトがあり、わかりやすい工夫がなされていました。「てこ」の導入で祇園祭の写真が掲載されており、他者に比べて興味を引く工夫となっていました。

同じく、候補として挙げられた啓林館は、問題の前に「問題をつかもう」が示され、また、児童自身が考え、話し合っ問題を見いだす過程も具体的に示されており、見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がありました。また、学習過程の中で、特に身に付けさせたい学び方や見方・考え方について、キャラクターの吹き出しでヒントが示されるなどの工夫もありました。

以上、理科についての報告です。

では、理科について採択いたします。ご意見をお願いいたします。

西川委員

啓林館が良いと思っています。巻頭で、「自然の不思議を解き明かそう」と言って、「不思議」という言葉を使っているということが、理科にとってすごく良いと思います。

それから、教育長も先ほどお話されましたが、「問題をつかもう」ということが示されていて、問題解決の過程や進め方がわかりやすいです。

理科を考える時に見通しを持つということが、すごく大事な点だ

と思いますので、理科については啓林館が良いと思っています。

教育長職務代理者

西川委員のおっしゃった「自然の不思議」という点に同感です。この頃、理科離れということがすごく言われていますので、理科の中に、面白い、楽しいということを入れていただきたいと思います。

例えば、フィールドワークは、3年生で出てきますが、楽しい時間だと思います。そこで、こういうところに注意をしましょうと安全への配慮が一番詳しく書かれていました。

ですから、子どもたちが自然の中に出て行く時には、こういう危険が身の回りにありますよということを服装についてまで、詳しく述べられているのが啓林館であると思いますので、啓林館が良いと思います。

山手委員

今、教育長職務代理者から、安全についての話がありましたが、私も啓林館が良いと思います。それは安全の配慮について、それぞれの場面において注意事項の記載があり、また、実際の実験のところでも注意事項の記載があります。「注意」マークや「やけど」マークなどが具体的に示されていました。

しかも、QRコードを読み取ることで、動画での安全の説明があります。理科は、実験する時の安全の配慮が大事なので、こんなに丁寧に書かれている点は良いと思いました。

また、全体に、理科離れとの声もありますが、どの教科書も、楽しくできるような工夫がされていて、本当に良いと思いました。啓林館を推そうと思います。

大矢委員

どの者の教科書も本当に写真がすばらしくて見比べますと、地層でも、こんなすごい地層があるのだと非常に感心しました。また、見開きの単元の始まりでどこも良かったです。

実験について、6年生の「物の燃え方」の実験を見た時に、物によって実験方法も違います。啓林館は、ろうそくの燃やし方はちゃんと4種類の比較実験ができるようになっています。

それが理科の根本だと思います。比較になっていないと、その実験が成り立ちませんので、そういう基礎を考えると啓林館が良いと思いました。

教育長

4名全員、啓林館ということですが、先ほど申し上げたように、私も中学校の理科の教員をしていましたが、とりわけ小学校の理科では、身近なことに注目して欲しいと思います。

そういう視点で、どの者の教科書を見ても、問題をつかんで、あるいは見つけて、そして予想して、計画を立てて実験をして、結果を出して、そして考えるという、この流れを、きちんと押さえています。これは、中学校の理科を教えていた身からするとありがたいと思います。

また、小学校の理科では、子どもたちの「不思議に思う」ことを大切にしたいと思います。

身近な「なぜ、空に雲が浮いているのか、不思議だな」、「虹はなぜあんな色をしているのか、不思議だな」という気持ちです。

小学生だからこそ、「身近な不思議」から入って欲しいと思います。そういう意味では、啓林館が不思議ということを、しっかりと出しているのは、ありがたいです。

どの者もよくできていますが、そういう意味で「不思議」に注目していただいている、啓林館が良いと思いますので、理科については啓林館を採択したいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは理科は啓林館といたします。

続いて、生活です。

生活は、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・光村図書・啓林館・日本文教出版の7者の見本本が届きました。7者ともに小学校生活のスタートがイメージしやすい内容となっていました。

各者の特徴について、「東京書籍」は、ポケット図鑑で実物の大きさがわかるなどの工夫がなされていました。ただ、同じページに実物大の大きさと、そうでない大きさの写真があり、わかりにくいという意見もありました。

大日本図書は、安全についての記載が教科書の後ろの方にあり、大切なことなので、始めの方にあつた方が良いのではないかという意見がありました。

光村図書は、動植物の描き方が写実性に欠けるのではないかという意見も出ていました。

日本文教出版は、単元の終わりに必ず「伝えよう」など発表する場面が設定されていました。

選定委員会から候補として挙げられた教育出版は、写真で外国にルーツのある子どもや女性校長を取り上げるなど人権的配慮が特になされていると感じました。注意について具体的な記載があり、わかりやすい工夫がなされていました。

啓林館は、レイアウトがパターン化されており、低学年の児童にとってわかりやすい工夫がなされていました。また、「わくわくボックス」など、興味をもちやすい導入がどの單元にも組み込まれていました。

以上が生活についての報告です。

生活について採択を行います。ご意見をお願いいたします。

教育長職務代理者

私は啓林館が良いと思いました。どの者も小学校1年生から入るということで、イラストも写真もかわいしいし、見ていて楽しい教科書です。

ただ、ちょっと違っていたのは、啓林館が季節の扱いのところで、必ず、その季節にどのようなお祭りが、どのような地域で行われているか、あるいは、どのような地域行事がその季節にあるのかということがきちんと書かれていました。

それは低学年の子どもにとって身近な生活感があると思いましたので、私は啓林館が良いと思います。

山手委員

私も啓林館が良いと思います。啓林館が「安全・安心」というところで、イラスト入りでとても丁寧に小さい子どもにわかるように書いてあったり、また、「津波どうする」「火事どうする」など丁寧に記載されています。

今、そういうことを子どもが身につけることが大事だと思いますので、各者とも良いつくりにはなっていますが、その「安全・安心」というところで啓林館が良いと思いました。

西川委員

私は啓林館も良いと思いますが、教育出版には、全体を通して何を感じたかを振り返るところがあります。

ただ単に、活動するだけではなくて振り返りをして、どの先生にとっても生活科の授業が一定のレベルでできるようになっており、

子どもにしても、先生方にしてもわかりやすいのではないかと思います、教育出版が良いと思っています。

大矢委員

先ほどの教育長職務代理者の話にありましたように、どの教科書も生き生きとして楽しそうで、子どもたちが楽しんで学べると思いました。

作りも丁寧で、各者に特徴がありまして、本当に迷いました。

教育長が言っていた「大きさ」ですが、啓林館は、本当の「大きさ」で載せていますので、子どもたちが実際にその虫を捕まえることがなくても、こんな大きさかなとわかるところが良いと思いました。

後は、先ほど話があったようにレイアウトがパターン化しているのもわかりやすい良い点だと思いましたので、啓林館が良いと思います。

教育長

私も啓林館が良いと思いますが、啓林館の教科書は、1 ページが3回出てきます。①と、ひらがなのふりがなが打ってある1 ページがあり、そして本文の1 です。

1 ページが3枚もある教科書だと、子どもに、1 ページを開けるよう言った時に、子どもが迷うのではないかと思います。この点については、今後、工夫していただけるのであれば、考えていただきたいと思います。

全体的には啓林館が良いと思いました。西川委員、いかがですか。

西川委員

啓林館が悪いというわけではありませんので、後は、実際に先生方が、この生活科の教科書を使ってどう授業されるかということのでがんばって欲しいと思っています。

教育長

では、生活については、啓林館にしたいと思いますが、よろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

では、生活は啓林館を採択したいと思います。
続いて、音楽です。

音楽は、教育出版と教育芸術社の2者の見本本が届きました。2者ともに児童が主体的に学ぶ工夫がありました。

「教育芸術社」は、巻頭の「学びの地図」は、音楽の木になっており、1年間でどんなことを学習するのかがわかりやすいという意見でした。

選定委員会から候補として挙げられた「教育出版」は、3年生以上で頻繁に活用するソプラノリコーダーの運指表が、巻末の折り込みページに組み込まれており、常に表を見ながらリコーダーを演奏することができる工夫がありました。また、全学年共通に手話つきの「さんぽ」の記載があり、学年に応じた成長を見ることができるようになっていました。

音楽についての報告は以上です。

音楽について採択を行います。ご意見お願いいたします。

西川委員

リコーダーの巻末の表がすごく良いアイデアだと思います。別プリント等を用意したり、楽譜を見ながらできるということで、これがすごく工夫されていて、この点だけでも、教育出版が良いと思っています。

山手委員

確かにソプラノリコーダーの運指表は、よくできていると思います。それに加えて、教育出版の5年生のオーケストラの写真で、その上に透明シートを被せて、うまく工夫して表現してあるのも良かったと思います。

私も教育出版を選びますが、両方とも楽しく学べるように工夫されていると思いました。

大矢委員

西川委員が言ったように運指表がとても良いし、山手委員が言ったようにオーケストラの透明シートも工夫されて良いと思いました。

いろいろ良いところが教育出版にあり、巻末に音楽を表すいろいろな言葉が載っておりまして、それを見て、活用できるのではないかと思います、どちらもすごく写真がきれいですし、良いのですが、私は教育出版の方が良いと思いました。

教育長職務代理者

私は両者ともに教材の取り扱いについては、適切に取り扱われて

いると思いました。しかし、「君が代」について、扱いが少し違うという特徴的なところを感じました。

教育芸術社は3、4年生は「さざれ石」が扱われ、その他の学年はスポーツの場面が扱われています。

子どもたちにとっては、スポーツの場面で「君が代」を見るのが、非常に多いと思いますので、それはそれで良いと思います。

教育出版は、1年生から6年生まで、「君が代」の中に詠われている言葉の意味が書かれています。そして、「さざれ石」のことがずっと写真として載っています。教育芸術社は、最後の見開きのところに載っています。

また、ページ数と印刷などを比べてみて、教育出版が美しいと思いましたので、教育出版とさせていただきます。

教育長

わかりました。4名の方が全員教育出版ということで、私も教育出版を採用したいと思いますので、音楽につきましては、教育出版ということによろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは音楽は教育出版を採択いたします。

続いて、図画工作です。

図画工作は、開隆堂と日本文教出版の2者から見本本が届きました。2者とも児童の作品を多く掲載するなど、イメージがつかみやすい工夫がありました。

各者の特徴について、開隆堂は、必要に応じて片づけ方について「かたづけ」、注意すべき点について「あんぜん」というコーナーが設けられており、写真などでも示されるなどの工夫がなされていました。

選定委員会から候補として挙げられた日本文教出版は、実際に児童が作成した作品、活動中の児童の様子や作品が多く掲載されており、イメージを持ちやすい工夫がなされておりました。单元ごとに「気をつけよう」「かたづけ」が示されており、「かたづけ」では、材料の再利用などについても考えられるよう工夫されていました。

以上、図画工作についての報告です。

では、図画工作について採択いたします。ご意見をお願いいたし

ます。

大矢委員

どちらの教科書も子どもたちの作品がたくさん載っていて、楽しそうな雰囲気があるのですが、開隆堂は本物の絵がたくさん載っています。

それで作品を作る時に、それぞれ子どもたちが自分の思いを形にするだけでなく、子どもにどんな作品がすばらしいか、客観的な目も高学年になったら養って欲しいということで、本物に触れるという面では、私は開隆堂が良いと思います。

山手委員

開隆堂は本物の絵がたくさん載っているのは、捨てがたいし、両方とも、とてもよく工夫されていて、子どもたちも楽しめると思います。

日本文教出版は友達同士の作品を鑑賞するという機会をたくさん作っています。相互鑑賞の多い方が子どもに良いかと思しますので、日本文教出版が良いと思います。

西川委員

開隆堂は立派な、大規模な展示の仕方が載っているのですが、日本文教出版は学校生活の中で実現の可能性が高く、子どもに身近で活用がしやすいような、展示の仕方であり、どちらが使いやすいか、より身近と考えた時に日本文教出版が良いと思います。

教育長職務代理者

開隆堂と日本文教出版で、人権、平和について、ゲルニカや原爆ドームの両者とも取り扱われています。

この取り扱いの、子どもたちに対する丁寧さ、わかりやすさという点では、日本文教出版が優れていると思いましたが、日本文教出版が良いと思います。

教育長

児童の活動や、作品の写真に吹き出しで表現や考え方が記載されています。子どもたちにとって、作品を作る上で、ヒントになるのではないかとということで、私も日本文教出版が良いと思います。

大矢委員、いかがですか。

大矢委員

どちらも、子どもたちの楽しい作品がたくさん載っていますので、皆さんが日本文教出版であれば、それも良いと思いますので、

結構です。

教育長 それでは図画工作については日本文教出版ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 では、図画工作は日本文教出版を採択いたします。
続いて、家庭に移ります。

家庭は、東京書籍・開隆堂の2者の見本本が届きました。2者ともに学習過程をわかりやすくとらえることができる工夫がありました。

ただ、東京書籍は、たくさん情報が記載されているが、たくさんありすぎて初めて学習する児童にとっては、難しいかもしれないという意見がでました。

選定委員会から候補として挙げられた開隆堂は、単元の冒頭で「なぜ」という問いかけがされており、学習の必要性に迫り、児童が主体的に考えられるような工夫がなされていました。また、「できたかな」の振り返りも具体的でわかりやすい工夫でした。

以上、家庭の報告です。

家庭について採択いたします。ご意見をお願いいたします。

教育長職務代理者 他教科との関連について、よく言われていると思います。さまざまな用語が、例えば、英語で記されているというようなことは開隆堂です。

それから、巻頭の見開きで、他教科との関連についての説明もされています。そういった英語、他教科との関連で、丁寧でわかりやすいということで、私は開隆堂が良いと思います。

西川委員 私も教育長職務代理者と一緒で開隆堂が良いと思っています。ご飯を炊く流れで比較しますと、開隆堂がシンプルで、わかりやすいです。

それから、安全マークも開隆堂の方が目に付きやすいし、記載内容等もわかりやすいと思います。

特に、家庭科で、安全に関しては、配慮が必要ですので、そうい

う点からも開隆堂が良いと思います。

大矢委員

先ほどの報告にありましたように東京書籍の方は情報がたくさんありまして、それが良いのか、悪いのかを私たちは着目しました。

例えば、ミシンの説明で、東京書籍の方が丁寧に説明しています。開隆堂の方は説明が少ないですが、わかりにくいということではなく、QRコードを読み取ることで、その情報を補充することができます。子どもたちにとってわかりやすいのがどちらかと思うと、開隆堂だと私は思いました。それで開隆堂が良いと思いました。

山手委員

大矢委員もおっしゃったように、両方とも、それぞれよくできています。しかし、調理やミシンについて、開隆堂の方がわかりやすいです。今まで、体験したこともない子どもたちがとりかかるのには、わかりやすいと思います。

もう1つ、開隆堂の特徴で、「生活の中のプログラミング」という項目を取り上げていまして、身の回りにある電化製品の動きとプログラミングの考え方を説明しており、これからそれを学んでいく子どもたちには、良いと思います。それで開隆堂の方を推したいと思います。

教育長

4名の委員が開隆堂ということで、私も開隆堂を採択したいと思いますが、家庭科は開隆堂でよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは家庭科は開隆堂を採択いたします。

続いて、保健です。

保健は、東京書籍・大日本図書・文教社・光文書院・学研の5者の見本本が届きました。どの者も児童が自分の生活を見つめ、よりよい生活を考えられるよう工夫されていました。

各者の特徴について、大日本図書は、本文や説明の文章が詳しく、児童に考えて書き込ませる欄も多く設定されていました。

文教社も、本文や説明資料の文章が多めで、児童が考えて書き込む欄や○を記入することができる個所も多く設定されていました。光文書院は、防災教育やインターネットと歩きスマホ、多様な性や

がんなど、現代的な課題について多く取り上げられていました。

選定委員会から候補して挙げられた東京書籍は、ページ数が多い分情報が多く、写真・資料が豊富で、扉絵の効果的な活用も含めて児童の興味・関心を高めやすい工夫がなされていました。書き込む欄も多く設定されており、紙質も書きやすく工夫されていました。

同じく候補として挙げられた学研は、いじめ、タブレット、自然災害など現代的な課題を多く取り入れるなどの工夫がなされていました。

以上、保健についての報告です。

保健について採択いたします。ご意見をお願いします。

山手委員

保健で、いつも気にしている、大事だと思っているのは歯の衛生のことです。それはどんな者を見ても、結構なページを割いて、載せられていました。

その次に、今の時代を考えて、薬物の取り扱いについて、小学生の子どもたちに教えておく方が良いと思い、比較して見てみますと、文教社は薬物乱用について「だめ」としっかりと記載されていました。学研は、きっかけについての記載もありましたし、光文書院には写真で掲載されていました。

それぞれの教科書会社がいろいろ取り上げているのですが、中でも東京書籍の方がより具体的で、そのものの写真も載せ、呼び方の別名なども含めて記載されており、薬物の問題行動にも記載されていましたので、一番詳しくかったです。

そういうことを考えた時に、東京書籍が良いと思いました。それぞれの本に、それぞれ良いところがあって、よく工夫はされていますが、東京書籍を推したいと思いました。

西川委員

最近、問題になっているLGBTや薬物の扱いがどうかと思い、見たのですが、光文書院がよりチャレンジされている感じだと思いました。

ただ、現場でこれをどう扱うかについては、一定、課題もあるかと思いました。

その中で、東京書籍が比較的バランスも良く、扱っていると思います。心の変化の仕方や現れる時期には個人差があるということを本文中でしっかり取り上げられています。

それから、大麻などの写真や、薬物の名称なども取り上げられています。こういったことから言うと、バランス良く全般的に取り上げられている東京書籍が良いと考えます。

教育長職務代理者

地域でどう身を守るかについて、先ほど社会で申し上げたのですが、それは保健の中にも、その地域でどう身の安全を守るかということが述べられています。

それで、保健の教科書を全部比べてみたのですが、その中では東京書籍が一番、子どもたちの身近な問題として、子どもたちにわかりやすく書かれていましたので、私は東京書籍が良いと思います。

大矢委員

各委員の意見を聞きまして、私も同じように良いと思いました。各者いろいろ、写真にしたり絵にしたりもあるのですが、その中で東京書籍は、3、4年生の保健の教科書で体のつくりについて触れています。そこで、男女の裸の絵があると、「ちょっと生々しいのではないか」という意見が、数年前には保護者から出たことがありました。

そのあたりのことを、この教科書を開いた時に子どもたちがどう思うのかと思うのですが、却ってそれを恥ずかしいから隠すということではなくて、これからの時代はあるものはあるものとして、特別なことではなくて、子どもたちの身体の成長のことですので、受け入れるということが大事だと思っています。

そういうことができるようになって欲しいので、この絵でも良いと思い、東京書籍が良いと思いました。

教育長

4名の委員全員が東京書籍ということですが、私も東京書籍を採択したいと思いますので、では、保健については東京書籍を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

では、保健は東京書籍といたします。

次に、英語に移ります。

英語は、東京書籍・開隆堂・学校図書・三省堂・教育出版・光村図書・啓林館の7者から見本分が届きました。7者ともに、文部科

学省作成の「We Can!」の内容を基本とした構成になっていました。

各者の特徴として、開隆堂は、單元ごとに必ずペアワークやグループワークがあり、友だちと協力しながら英語を学ぶことができる工夫がありました。

学校図書は、巻頭にクラスルームイングリッシュについて詳しく記載されていました。

三省堂は、導入が他者と少し異なっていました。各学期の最後にプレゼンテーションが設定されており、そのゴールに向かって單元が構成されていました。

光村図書は、グローバル的で、世界の友だちなど、その国の生活や文化への理解を深めることができる工夫がありました。

啓林館は、単元の始めにゴールが示されており、ユニット全体のめあてを確認するような工夫がありました。

選定委員会から候補として挙げられた東京書籍は、全單元において、紙面上が上中下の3つに分かれており、中段を授業の中心で取り扱い、上段と下段は実態に応じながら活用できるよう、情報量や活動の種類が豊富でした。巻末のイラストカードなどは切り取り式で利用しやすく、また、別冊「Picture Dictionary」を活用し、主体的に活動できる工夫もありました。

同じく候補として挙げられた教育出版は、一目でどのような活動を行えばよいか分かるようなイラストが多く掲載されており、教師が英語を使って指示をする際に児童が活動をスムーズに行うことができる工夫がありました。巻末のイラストカードやワークシートが切り取り式で、活用しやすい工夫がなされていました。

以上、英語についての報告です。

英語について採択を行いたいと思います。ご意見をお願いいたします。

山手委員

英語は初めての教科書ということですが、どの者もそれぞれ工夫されていて良かったと思います。

英語は、話して、通じることで、子どもたちのやる気も起こってくると思いますし、コミュニケーションをきちんととるという意味では、東京書籍が良かったと思いました。

例文がきちんと載っており、子どもたちの答え方にも、全文が印刷されていました。教科書によっては、例えば曜日を入れるところ

を、空白にしていますのは、子どもたちの練習にということだと思いますが、最初はまだ英語の授業に、本当の初歩で入る子どもには、例文がきちんと全部載っているのが良いと思いました。

先ほどの報告の「Picture Dictionary」は優れもので、子どもたちが活用できると思いました。それで、東京書籍が良いと思います。

西川委員

「Picture Dictionary」は、その授業だけではなく、それを持っていることで、いろんなところの、生活の中でも活用することができると思っています。

最後に、いろいろなカードがミシン目で切り取ることで、これもいろいろと活用できます。

先生方も使いやすく、子どもたちも使いやすいところが評価できるとしています。

各者それぞれ工夫はされていますが、その点で東京書籍が良いと考えます。

大矢委員

私は教育出版が良いと思いました。東京書籍は、例文が載っていてわかりやすいですが、字が多いことでハードルが高い子どももいるのではないかと思います。

その点、教育出版は、単元の始めがイラストだけなので、多分、耳から入って、英語に慣れていくというところが、子どもたちにも入りやすいのではないかと感じました。

私自身、小学校から英語をしていたのですが、字を追うのも良いのですが、小学校の時は耳からだと思いましたので、私は教育出版が良いと思いました。

教育長職務代理者

私は東京書籍が良いと思います。西川委員からの説明にもありましたが、巻末でミシン目が付いていて、カードを切り取り、それに対応する教科書のページの上に置いて重ねた状態で授業が進められるようになっています。

また、巻末にまとめてアルファベットが載っていますので、必要に応じて、見開きを見ればアルファベットの大文字、小文字が載っています。これは非常に使い勝手が良いのではないかと思います。

私は東京書籍が良いと思いました。

教育長

私も初めての教科書ということで、7者を見比べましたけれども、皆さんが言っていたこともありますし、今、出なかった意見としては、QRコードの活用が、それぞれ工夫されているところもあれば、まだ今の段階では準備中なのかなと思うような者もございました。

タイトルだけが出てくるような者や、読み上げられるような者もありましたが、中でも東京書籍は教科書に載っている本文がネイティブな発音で読み上げられます。

他の社はチャンツとかジングルなどいろいろなものが読み上げられるのですが、私が調べた限りは本文がそのまま読み上げられるのは東京書籍だと思います。

家で、自分で学習する際に、先ほど大矢委員からも、「話す」「聞く」ことができるのは、新しい英語教育のポイントだという意見もありました。

摂津市としても、ALT等を各学校に配置して、発音を子どもたちに聞いてもらえるような体制づくりをしていますが、このようにQRコードを使って、各家庭で子どもたちが自学自習できるというのは、東京書籍に一日の長があると感じます。

今、QRコードのことだけを申し上げましたが、それ以外にも良いところが他の者にもありますので、私も東京書籍が良いと感じています。

東京書籍が4名。教育出版が大矢委員ということですが、いかがでしょうか。

大矢委員

皆さんがおっしゃるように、教科書では英語は初めてで、各者、それぞれ特徴がありますが、まだ、実際に使っていませんので、確信をもって、これだということも言えないです。

使ってみて初めてわかると思いますが、皆さんがおっしゃるように東京書籍にも良いところがたくさんあります。

皆さんのおっしゃる、「Picture Dictionary」が良かったり、あるいはQRコードを読み込むとその文章が出てきて、いっぺんに耳に入ります。

それが授業で活用されるのであれば、私は東京書籍が良いと思います。

教育長 それでは、英語については東京書籍を採択したいと思います。よろしいですか。

全委員 異議なし。

教育長 では、英語は東京書籍を採択いたします。

次に、特別の教科 道徳です。特別の教科 道徳は、東京書籍・学校図書・教育出版・光村図書・日本文教出版・光文書院・学研・あかつきの8者から見本本が届きました。どの者も「考え議論する道徳」のための多様な学習方法を取り入れる工夫がなされていました。学習会では、特に、現代的な課題であるいじめ問題や情報モラル、並びに分冊の取り扱いについて各者の内容を比較しました。

各者の特徴について、学校図書は、「きづき」と「まなび」の2冊に分けられており、この2冊を併用しながら授業を進めるのは難しいのではないかという意見がありました。また、いじめに関する教材が他者と比べて少ないのではないかという意見がありました。

光村図書は、いじめを考えさせる内容が充実しており、児童の実態に応じて活用することができるようになっていました。情報モラルについても、高学年でインターネットにつながる話で考えさせるようになっていたり、4コマ漫画で考えさせるような工夫がありました。

日本文教出版は、別冊があり、児童が考えを書き込めるようになっていますが、活用が難しいのではないかという意見がありました。また、いじめについて、法律に関する記載があり、「心のベンチ」で考えを深めることができる工夫もありました。

光文書院は、いじめや情報モラルについて全学年で取り上げられており、特に、情報モラルについては、ネットの使い方やスマートフォンのトラブルについて多く取り上げられていました。

学研は、情報モラルに関し、低学年では情報機器を使用するときの約束について、高学年になるにつれて情報の扱い方やモラルについて考えられる教材となっていました。いじめについては、間接的な取り扱いになっているのではないかという意見がでました。

あかつきは、別冊にも教材があり、本冊とともに活用するには綿密な計画が必要になるのではないかという意見がでました。また、情報モラルと現代的な課題が、いじめと人権がそれぞれセットにな

ってしまっているという意見がありました。

選定委員会から候補として挙げられた東京書籍は、情報モラルについて、スマートフォンやネットというだけでなく、情報全般について取り上げられていました。情報モラルについて、「家の人と考えよう」とありますが、それだけで良いのかという意見が出ました。

同じく、選定委員会から候補として挙げられた教育出版は、いじめについての教材は多く、その他の情報モラルや防災教育等の現代的な課題についても教材が充実していました。

以上、特別の教科 道徳についての報告です。

特別の教科 道徳について採択を行いたいと思います。ご意見お願いいたします。

山手委員

たくさんの者が、それぞれ良いものを出しておられて、私たちはいじめのことや、情報モラルのことを重点的に見てきました。

いじめのことなどは、日本文教出版など多くの者がしっかり書かれていまして、それぞれ、とても良い教科書ですが、それを読んだ子どもたちに、どんなふうに伝わるのかを考えました。

一番伝わりやすい内容・レイアウトというのを考えまして、光村図書が良いと思いました。

東京書籍は情報モラルについて、巻末にあります。少し弱いと思いました。もう少し踏み込んで、子どもたちが実際に活用できるような勉強の仕方を提示して欲しかったと思いました。

それで教育出版については、LGBTのことも5年生で「男子は男子」「女子は女子」というような内容があり、これもどうかと思います。しかしながら、教育出版もいじめのことなど、とても良い教科書であったと思います。

でも、全体を通しては、光村図書が良かったと思います。子どもたちに伝わりやすいというのは、漫画を使っている点だと思いました。

6年生では、タレントの高橋みなみさんのいじめについての話を載せてあったり、ヨシタケシンスケさんのいろんな漫画を載せてあったりしています。

その一つひとつのテーマも、割と子どもたちの身近に起こるようなことで、すぐ子どもたちが自分のこととして考えられる内容であったと思っています。それで光村図書が良いと思います。

教育長職務代理者

これは私自身も大変迷いました。ただ、選定委員会から上がってきているのは、東京書籍と教育出版でした。それで私は東京書籍と教育出版を比較して見させていただきました。

道徳教育はいろんな考え方があり、例えば東京書籍は、1からゼロベースで皆で議論して、自由な発想で議論の中からもいろいろ考えましようというタイプの教科書です。

もう1つの教育出版は、先生が求めているものはこんな感じだろうというのが、読み取れるような雰囲気教科書であったと思います。

そういう意味では、両者は対照的であったと思っています。

ただ、最終的な道徳教育の目標、目的が道徳的な心情や、道徳的な価値をどう養うかということだと思っています。

それともう1つ言いますと、摂津市の先生方は、今、非常に若返っていて経験も不足しています。これから、教師として、いろいろ学んでいかななくてはいけないという時期に、道徳教育をしてゼロベースで、どうものごとを考えるかとなると、難しいところがあるのではないかと思います。

摂津の子どもたちに、一定、これぐらいのことは道徳教育、道徳的心情、道徳的な価値ですよ、ということをお教へてあげられる教科書が良いのではないかと思います。

その中で教育出版は「考えよう」「深めよう」というところがありまして、授業の仕方によるかもしれませんが、子どもたちは先生の気持ちを忖度するかもしれません。

しかし、一定の目標に近づくためには、私はこの考えを深めようという考え方で先生方が指導していただいて、摂津の子どもたちに、一定の道徳的な力を付けさせていただきたいと思いましたが、教育出版が良いと思えました。

西川委員

これは悩みました。前回の選定の時にどんな話がされたかを、振り返ってみた時に、いじめを、全学年を通して、しっかりと扱うということと、情報モラルがありました。

特に、摂津市の場合は、小学校低学年ぐらいからでも携帯の保有率がかかなり高いというのが現状です。

これについて、どこで教えるのかという時に、特別の教科道徳の

授業のもつ意味は大きいと思います。それから、どの先生も一定のレベルでできるようにということを考えました。

その中で、選定委員会にも上がってきた2者以外の他のところも全部、目を通した中で、私としては、選定委員会には上がっていなかった光村図書が一番良いと思います。

その理由として、その情報モラルに関して、3年生から、インターネット、ゲーム依存ということがしっかりと扱われています。WHOで国際疾病の認定のところで、位置づけられたということですので、そういう意識を持ってインターネットを扱っています。6年生でも、スマートフォンについて触れています。

もう1つ、いじめについては、全学年共通の形で、目次を開いた時に「いじめを許さないこと」ということが出てきて、これは指導する方も、子どもたちも意識せざるを得ないであろうと思います。

それから、その後にコラムで、情報などについて、しっかりとフォローで書かれているということがすごく大事だと思います。

教育出版も悪いわけではないのですが、以上の観点で、光村図書が良いと考えます。

大矢委員

結論から申しますと、私も光村図書です。選定委員会では出ていなかったのですが、どうかとは思いました。

東京書籍は選定委員会の候補として、どうして上がったかという点、発問が少なく、授業者が工夫しやすいということでした。

しかし、山手委員がおっしゃったように情報モラルが弱いということで、例えば、6年生の終わりになってスマートフォンを持つのはどうかという議論がありました。

摂津市の子どもにとって、6年生になってからスマートフォンを持とうかどうか考えている親子は少ないのではないかと思います。もう既に持っている子どもが多くなれば、それからでは遅いと思います。

情報モラルはしっかり扱って欲しいです。本当は家庭ですべきところを、家庭だけでは足りず、それが基になっていじめになっていますので、情報モラルと、そのいじめが絡んでいる教材が非常に好ましいと思います。

その中で選定委員会が挙げていました教育出版は、そういう点ではとても良いと思います。それでいじめもしっかりしていて、6年

生では、「ひきょうだよ」というトピックがあつて、本当に衝撃的でした。いじめに加わらずに、後で終わってから「ごめんね」と言つて、「それは卑怯だ」と言われるという内容で、そこまで厳しい内容であるのは非常に良いと思います。

でも、それでも私が光村図書を推すのは、「道徳はまじめな時間だよ」、「一生懸命考えましょう」となると、子どもたちが、「ああ、道徳か…」となるのは、どうかと思います。

山手委員がおっしゃったように、「道徳」の教科書は光村図書が、前から非常に工夫されています。例えば、この「心をかよわそう」というトピックは全学年を通してありまして、相手の気持ちを考えて言葉をかけようというものです。

そこから、いじめというものを防いでいけるとと思います。何気なく言った言葉、例えば、他の教材でしたらば「バカじゃん」と、愛想よく言っていたつもりが相手には意地悪に聞こえたということもありますので、そういうところから、しっかり押さえています。

いじめで、先ほども言った高橋みなみさんのいじめにどう向き合うかでも、ちゃんといじめ防止対策推進法まで書いてあります。

日本文教出版も法律はもちろん書いていますが、世界人権宣言も書いてありますし、いろんなところで光村図書は工夫されていますので、私は光村図書が良いと思いました。

教育長

私自身もいろいろと悩みましたが、内容的に、勉強会でも重点として考えた情報モラルといじめについては、きちんと押さえていただきたいというのが願いです。

そういう意味で光村図書の6年生のいじめの部分がしっかりと取り上げられております。ただ、数が多いので、これを全部やる必要はなく、内容項目を1つずつ押さえたら良いと思います。その辺りはいろいろと各学校で工夫していただいたら良いと思います。

いじめ、情報モラルについては、今の子どもたちのさまざまな痛ましい事件、事故を考えた時に、つい先日のニュースでも、子どもたちはまだ何がいじめかわかっていないという報告を、ニュースで聞きました。

そういう意味で、しっかりと教えていただくためにも、光村図書が良いと思います。

教育長職務代理者は、教育出版というところですが、いかがです

か。

教育長職務代理人

光村図書で結構です。

教育長

今回は選定委員会の提案にはない発行者を選ぶことになってしましますが、教育委員会としては、道徳については光村図書を採択したいと思っています。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

では、道徳については、光村図書といたします。
それでは、一応すべての種目について意見が出ましたので、何かここで、追加でご意見ありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

教育長職務代理人

今回、教科書を見せていただいて、ユニバーサルデザインやカラーユニバーサルデザインの認証マークをとられている者と、とられていない者がありました。

ただ、ここでそういう認証をとっていない者は、そういうことに配慮されていないのかといったら、必ずしもそうではなく、きちんと配慮はしています。ただ、認証をとっていないだけということをお聞きして、安心しました。

それがある者となない者がなぜあるのかは会社それぞれの考え方があるのですが、それは私自身が少し引っかかっているところ
です。

大矢委員

感想ですが、本当にどの教科書もすばらしく、主体的・対話的で深い学びということをしっかり押さえた教科書でした。

とても、迷いました。本当に迷いに迷って、皆で考えて決めたので、ぜひこれを撰津の子どもたちに役立てていただきたいと思
います。

教育長

それでは意見が出尽くし、採択候補が出揃いましたので、もう一度、ここで確認をさせていただきたいと思
います。

国語 光村図書株式会社

書写 教育出版株式会社

社会 教育出版株式会社
地図 株式会社帝国書院
算数 東京書籍株式会社
理科 株式会社新興出版社啓林館
生活 株式会社新興出版社啓林館
音楽 教育出版株式会社
図画工作 日本文教出版株式会社
家庭 開隆堂出版株式会社
保健 東京書籍株式会社
英語 東京書籍株式会社
道徳 光村図書株式会社
何か質問等がございますか。

ないようでしたら、令和2年度使用小学校教科用図書についての審議を終了します。今後の日程等、担当課よりお願いします。

教育支援課長

今後の情報公開について確認をいたします。

教科用図書の採択事務に関することについては、一定期間、具体的には文部科学省が示す採択期間である8月31日まで非公開ということで進めてまいりました。

しかし、本日の採択に係る審議を公開といたしましたので、採択結果のみ速やかに公開し、議事録等については整えた上で、9月1日以降に公開したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

教育長

異議はございますか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしということですので、そのようにお願いいたします。

以上で議案審議を終了いたします。

では、本日の案件は全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の臨時教育委員会議を終了いたします。ご苦労様でした。